

平成26年11月2日  
今週のベストショット



奈多グラウンド 奈多フェニックス 対 奈多クラブ戦

最終回二死三塁からライトへサヨナラタイムリーを放つ奈多クラブ九番木伏洋一郎選手。

写真：三苦三球会 仲村泰洋

奈多グラウンド 奈多クラブ最後は俺がやる！

奈多フェニックス（6勝6敗1分）4 0 0 0 0 0 4 今林勇太●—実延新吾

奈多クラブ（9勝4敗0分）0 0 0 3 0 2 X 5 今林瑠生○—安河内

HR：今林勇太（奈多フ） 3BH：今林健（奈多ク） 2BH：今林健（奈多ク） 能丸（奈多フ）

初回、奈多クラブ今林瑠生投手は制球が定まらず四球で塁をため、一二塁から奈多フェニックス三番今林勇太選手に左中間を破る3ランを打たれ、その後更に1点を追加されフェニックス優位で試合は進む。その後奈多クラブは毎回ランナーを出すも要所を締められ迎えた四回裏、フェニックス今林勇太投手の制球の乱れから二死満塁のチャンスを作ると、今日唯一ヒットを放っている今林健選手が走者一掃タイムリー二塁打で3点を返す。そして最終回、奈多クラブはヒットと送りバントで二死二塁のチャンスを作り、「持っている男・今林健」がタイムリー三塁打で同点とし、勢いそのままに、続く木伏選手のライトオーバーのサヨナラタイムリーにより勝利を掴んだ！お互いに最終戦にふさわしく、ナイスゲームだった。（記事：三苦三球会 名田義一、写真：仲村泰洋）



初回から投打にわたり絶好調のフェニックス今林勇太選手。



四回に1点差まで追いつける奈多クラブ今林瑠生投手。



初回、先制の3ランを放ったフェニックス今林勇太選手。



3打数3安打と大当たりの奈多クラブ八番今林健選手。



最終回、二死二塁から今林健選手の同点タイムリー三塁打。



続いてライトへ見事にサヨナラヒットの九番木伏選手。



サヨナラのランナー今林健選手がホームインでゲームセット。

## 青松園A レッド 上位打線の活躍で2ケタ得点の勝利！！

レッドサンデーズ（9勝4敗） 3 3 2 2 1 1 1 江口○ー荒口

三苦フレンズ（1勝12敗） 2 2 0 1 0 5 肥喜里●、生野拓磨ー御手洗

HR：江口（レッド） 2BH：寺山、生野猛（三苦フ） 盗塁：神田2、八島2、前田（レッド） 生野拓（三苦フ）

少し肌寒い中で行われたこの一戦は、レッドサンデーズは一回表に一番江口選手が四球で出塁すると二番荒口選手、三番神田選手の二連打と相手のミスも重なり無死で3点先制。その後四球が3つ続くも後続が凡退し三者

残塁。その裏フレンズ一番生野（拓）選手はショートへの内野安打で出塁すると二盗を成功。二番場崎選手がライト前へヒットを放つ間にランナーが生還。その後四番寺山選手がセカンドエラーを誘い2点を返す。二回表レッドは一二番の連続四球と三番神田選手のヒット、四番八島、五番前田選手の連続犠牲フライでまたもや3点を追加。対するフレンズも七番肥喜里選手のセンター前と生野拓選手のレフト前ヒットが相手の失策を呼び2点を奪う。点の取り合いが続く中迎えた三回表、レッド七番稲又選手がセンター前ヒットを放ち、その後二死となって一番江口選手がレフト線へ完璧なホームランを放つ！これで流れはレッドサンデーズとなり、毎回得点で2桁得点とした。フレンズも6点差の最終回、満塁までチャンスを作り八番阿久井選手の打球は、当たりは良かったもののセンターライナーとなりゲームセット。惜しくも勝利とはならなかった。

（記事、写真：新町パイレーツ 安部貴大）



9勝目を挙げたレッド先発の江口投手。



フレンズ先発の肥喜里投手。



二回表、犠牲フライを放つレッド四番八島選手。



三回表、ライト線へのヒットを放ったレッド七番稲又選手。



三回表、レッド江口選手は2ランを放ち投打で大活躍！



四回表から二番手で登板のフレンズ生野拓磨選手。



四回裏、代打でライト線へ二塁打を放つ生野猛選手。

## 第25週編集後記

WSLの皆さん、こんにちは！

第25週、11月2日は2試合が行われました。

奈多グラウンドの奈多フェニックス対奈多クラブ戦は、雨上がりでグラウンド状況が悪く、センター側をホームとして試合開始。一回表、今林勇太選手の3ランなどで4点をリードしたフェニックスだったが、奈多クラブは四回裏、二死満塁から今林健選手の二塁打で3点を返すと、最終六回裏、二死二塁からまたしても今林健選手のタイムリー三塁打で同点とし、九番木伏選手がライトへサヨナラタイムリー！毎回塁を賑わすフェニックス打線を初回の4失点のみに抑えた奈多クラブ今林瑠依投手の粘りのピッチングが最終回の逆転劇を呼び、9勝目で最多勝獲得決定。

青松園Aのレッドサンデーズ対三苦フレンズ戦は、序盤フレンズ肥喜里投手の制球不足からレッドが3点ずつ奪うも、最終戦で2勝目を狙うフレンズ打線も最多勝を狙うレッド江口投手を捉え、2点ずつを返す。勝負を分けたのは、三回表二死二塁からレッド一番江口選手が放った左越えの2ラン。更に代ったフレンズ生野投手から四死球を足掛かりに追加点を奪ったレッドが11-5で勝利。昨季共に3勝止まりだった両チームは、今季レッド9勝、フレンズ2勝とこの一年で明暗がくっきり分かれた。レッド江口選手は、この試合、1、2打席ともに四球で、首位打者獲得には残り2打席、2打数2安打が絶対条件だったが、3打席目で左越えHR、4打席目はHRを警戒したレフトの前に落とすヒットで、三友クラブ柿崎選手を抜いて首位に立った。同時に9勝目で最多勝を獲得決定。

掲示板でも訃報をお知らせした少年ソフトボールチーム「奈多クラブ」の中田早苗監督（79）が、11月4日ご逝去されました。

通夜、葬儀には多数の選手、保護者、OB、関係者の方々が集まり、最後のお別れをしました。

私を含め、WSLには多数の教え子が在籍し、各チームの主力として大活躍しています。

中田監督が率いた「奈多クラブ」の活躍は、福岡県下では知らない人がいないほどの戦績を残し、またその卒部生は各方面で活躍し、プロ野球選手が生まれたほどです。

「忍耐、努力」をモットーに選手たちはソフトボールを通じて、親や地域の方々への感謝の気持ち、仲間の大切さ、勝つことの喜び、負けることの悔しさを学びました。

しかし、今にして思えば一番「忍耐と努力」をされていたのは、中田監督ご自身だったことでしょう。

中田監督が亡くなる前日に、秋季リーグの優勝を決めた現役選手たちは、優勝旗を監督の病室に届けたそうです。

病床の身にあって、最後の力で選手たちの朗報を受け取った中田監督の「選手、子供たちのために」という生き様には、ただただ頭の下がる思いです。

しかし、下がった頭を奮い起こして、我々は前を見つめて力強く進んでこそ、中田監督に教えて頂いたことに報いることが出来ると思います。

奈多クラブで中田監督の教えを受けた皆さんが、WSLで活躍するのは勿論、社会、地域、会社、学校、家庭においても「忍耐、努力」を胸に、活躍できることを願っています。

また、残念ながらお別れが出来なかった方は、帰福した際などに監督のご自宅を訪ねられて下さい。

おばちゃん（政江夫人）がああころと変わらない声で迎えてくれることでしょう。

さあ、平成26年度のWSLは残り1試合と11月16日の奈多サンデーズ対三苦ホーネッツのプレーオフを残すだけとなりました。

納会での映像作成も順調に進んでいます。

皆さん、最後まで目が離せませんね！